

コミュニティ・スクールの推進に向けて

コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)は、学校運営にあたって保護者や地域等と連携し、子供たちの学びや成長を支える重要な仕組みです。本市では、各学校において、コミュニティ・スクールの取組を進めています。今回は、西区の高津橋小学校の取組を紹介します。



第24回環境美化教育
優良校等表彰で
優良校に選出!

～高津橋トコトンごみゼロ大作戦～

高津橋小学校の校区では、複数の公園でごみのポイ捨てが目立つようになり、地域の問題となっていました。そこで4年生が「総合的な学習の時間」で解決に向けて取り組むことにしました。学校運営協議会では、学習内容を決めていく段階から、学校と地域でどのように協力していくか意見を出し合い、一丸となって取組を進めました。

●取組内容

- ・学校運営協議会委員がゲストティーチャーになり、解決方法を一緒に考える授業
- ・地域住民や近隣中学校の生徒会と放課後ごみ拾い活動
- ・青少協と商業施設でのティッシュ配りによる啓発活動
- ・公園掲示板へのポスター掲示
- ・環境局・建設局によるごみに関する授業
- ・児童による幼稚園での紙芝居の読み聞かせ
- ・ごみ捨て禁止の啓発CMづくり(校内で放送)

●活動成果

- ・他の学年の児童もごみ袋を持参しごみ拾いを行うなど、学校全体で美化意識が向上しました。
- ・地域でも、ポイ捨てに対する問題意識が強くなりました。
- ・ポイ捨てが増えていた近隣公園のごみが減りました。



▲授業で学校運営協議会委員にインタビューする様子



▲近隣の中学校と協力して活動

子供向け法律相談を開催します

本市では、兵庫県弁護士会の協力により、子供たちが学校園生活を送るうえで生じる悩みごとや困りごとについて、弁護士に相談できる「法律相談」を開催しています。

日 時：12月実施予定
場 所：兵庫県弁護士会館(神戸市中央区橋通1丁目4番3号)
対 象 者：市立学校園に通う園児・児童・生徒及びその保護者
相 談 料：無料
申込窓口：兵庫県弁護士会

※実施日時・申込方法など、詳しくは「すぐーる」
でお知らせします



市立高校の特色ある取組

市立高校では、生徒が自ら学び、考え、主体的に行動する「未来の作り手」となれるよう、特色のある様々な教育に取り組んでいます。

課題解決型フィールドワーク

2024年度から、高校生が自ら問題を発見し解決する能力を養うフィールドワークプログラムを始めました。市立高校の生徒が混成チームを作り、神戸ならではのユニークな活動に取り組む地域人材や、他校の生徒との交流・協働を通じて、多様な視点から物事を考える力を身につけ、地域の魅力と課題を学びます。神戸のまちづくりに関わる行政や民間企業から講師を招いて、まちの活性化について講義を受けた後、都市部・農村部に実際に足を運んで、取組を実践している人に話を聞くフィールドワークを実施します。その後、解決策を考え、プレゼンテーションと意見交換を行います。

高校生国際会議

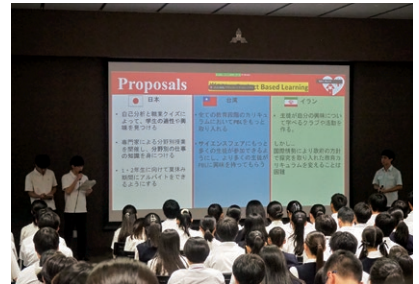
市立高校では、世界の高校生と共通の課題を議論し解決策を提案する「高校生国際会議」を開催しています。2024年度は、7月11・12日の2日間、葺合高校で実施しました。

●参加校（5か国10校）

- 葺合高校 ●六甲アイランド高校 ●科学技術高校 ●神港橘高校 ●須磨翔風高校
- 楠高校 ●ウエストボングラマースクール(オーストラリア) ●サバ高校(イラン)
- 台中市立台中第一高級中等学校(台湾) ●アベリャナ国立学校(フィリピン)

教育や健康、人権など世界共通の課題についてのディスカッションや、葺合高校3年生による探究学習の成果発表、高校間での課題学習に関する交流発表を行い、お互いの意見や提案を知り視野を広げる機会となりました。

基調講演では、(株)神戸酒心館の安福社長から、サステナブルな酒造りの取組などのお話を聞き、地元企業のSDGsの実践事例を学びました。

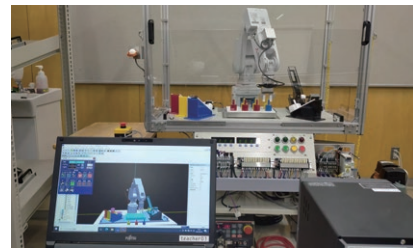


高度なデジタル教育

文部科学省から、デジタル教育の強化に必要な経費の支援を受けられる「高等学校DX加速化推進事業(DXハイスクール)」に、科学技術高校・神戸工科高校・葺合高校が指定されました。

●2024年度の各学校での取組(予定)

- ICTを活用した高度な情報教育を重視するカリキュラムを実施
- 高校ごとに強化する取組を設定し、環境整備や教員研修を実施



	科学技術高校	神戸工科高校	葺合高校
実施項目	プログラミング技術	ロボット技術	情報Ⅱ(※)の開講(2025年度～)
主な取組(予定)	AIを活用した画像処理の知識技能の習得に向けたメタバース実習及びオンライン講義環境整備	産業用ロボットやAI等最新技術を活用した実習環境整備	開講に向けたICT実習環境整備 ※「情報Ⅰ」(必修科目)より高度な、情報システム構築に必要な実践的手法などを学ぶ科目
	・360度カメラ、メタバース空間デザインシステムソフトウェアの導入 ・高輝度プロジェクターシステムの導入 ・無線LAN環境の拡充	・プログラミング専用ソフトウェアの導入 ・ドローンや3Dプリンターの活用にかかる専門家を招聘	・3Dアニメーション・AI動画作成ソフトウェア、3Dプリンター、高機能コンピュータ(ドローンやプロジェクションマッピングのプログラミング)やデジタル顕微鏡の導入など

中学校部活動の地域移行 ～部活動から「KOBE ◆ KATSU」へ～

本市では、2026年8月末に中学校部活動を終了し、地域の方々とともに活動する「KOBE ◆ KATSU (コベカツ)」を開始できるよう準備を進めています。

●福本教育長からのメッセージ

中学校部活動は、子供たちが異年齢の交流を通じて豊かな人間関係を築くとともに、協調性、忍耐力、体力や技能の習得につながるなど、大きな役割を果たしてきました。

しかしながら、少子化の進行により部活動の休部・廃部が相次ぎ、単独では試合に出られない学校も増えるなど、学校単位での活動の維持が難しくなっています。社会の価値観が多様化し、子供たちがやりたいことも多様になっている中で、放課後の過ごし方として限られた部活動しか選択できないという状況になりつつあります。

また、全国的に教員の多忙な働き方が注目され、教員のなり手が不足する中で、経験や意思に関わらず教員が顧問を担う仕組みは限界に近づいています。

そこで、神戸市では2026年8月末に部活動を終了し、子供たちが地域の方々とともに活動する「KOBE ◆ KATSU (コベカツ)」を開始します。来年1月には活動団体の公募を開始し、どこでどのような活動がはじまるか、順次公表していく予定です。

校区に関係なく子供たち自身が「やりたいこと」を選択できるよう、また、これまでの部活動になかった種目にも取り組むことができるよう、多様な環境を整えていきたいと考えています。

様々な課題はありますが、将来に渡って子供たちが主体的に選択し、多様な活動に参加できるよう取り組んでまいりますので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



●よくある質問

Q1 「コベカツ」とは何ですか。

A1 子供たちが地域の方々とともにスポーツや文化活動を楽しむ「神戸の地域クラブ活動」のことです。地域のスポーツ・文化団体をはじめとした幅広い団体が活動主体となり、中学校の施設等を活用して、子供たちに活動の場を提供します。

Q2 全ての部活動が終了するのですか。

A2 現在の部活動は、運動部・文化部ともに2026年8月末に終了します。

Q3 「コベカツ」のクラブにはどのような種類があるのでしょうか。

A3 指導者から指導を受けて活動するクラブだけでなく、多世代で趣味などを一緒に楽しむクラブなど、様々な活動内容のクラブを想定しています。

Q4 「コベカツ」では、どのような方から指導を受けることになるのでしょうか。

A4 地域で活動している既存のスポーツ・文化芸術団体や部活動のOB・OGグループ、保護者のグループなど、広く参画いただくことを想定しています。活動にあたっては一定の研修を受けていただく予定です。

Q5 小学6年生は部活動と「コベカツ」をどのように選択すれば良いですか。

A5 現在の小学6年生は、中学2年生の夏までは(小学5年生は、中学1年生の夏まで)部活動に所属して、その後に「コベカツ」のクラブに参加することができます。活動団体の応募状況にもよりますが、小学生時に所属している団体が「コベカツ」への登録を予定している場合は、中学生になっても部活動に入らずに、これまで取り組んできた活動を続けることもできます。「コベカツ」のクラブの登録状況などについては、適宜発信してまいります。



その他のQ&A、
制度の詳細はこちら

神戸サイエンスコンテスト2024を開催しました

科学を学ぶ意義や有用性を実感し、科学への興味・関心を高めることを目的に、8月2日(金)に神戸サイエンスコンテスト2024を開催しました。12校38チーム108名が参加し、チームで協力して筆記と実技の問題に取り組み、合計点を競いました。

優勝 太山寺中学校「前前前線」チーム
準優勝 福田中学校「佐野塩素」チーム



▲優勝した太山寺中学校「前前前線」チーム

●筆記問題

理科と数学の様々な分野から、思考力を問う問題が出題されました。
どのチームも学校で学んだ知識を活かし、チームで協力して高得点を目指しました。

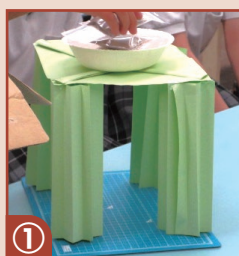


●実技の部「建造物の耐荷重チャレンジ」

コピー用紙7枚を使って建造物を作り、その上におもりを乗せていきます。乗せられたおもりの多いほど高得点です。

考えて
みよう!

下の3つ写真は、実際に生徒が作成した建造物です。
一番多くのおもりを乗せられたのはどれでしょうか。
(こたえはこのページの一番下)



インフルエンザ等の感染拡大の防止

気温が下がり、空気も乾燥するこの時期は、インフルエンザが流行する時期です。また、新型コロナウイルスやマイコプラズマなどの感染症も発生しています。各学校園で学級閉鎖等が生じた場合には、基本的な感染症対策に加え、感染状況に応じて以下のような対策を行うことがありますので、ご理解・ご協力をお願いします。

●感染流行時の対応

- 教職員がマスクを着用したり、必要に応じて児童生徒に着用を促したりします。(その場合でもマスクの着用を強いることがないようにします。)
- 感染リスクが比較的高い学習活動(グループワーク、合唱など)では、近距離・対面・大声での発声や会話を控えます。
- 室内での集会や、人が密集する行事などはできるだけ避けます。
- 学校行事では、参加者に手洗いや咳エチケットを推奨し、可能な範囲で間隔を空けるなどの対策を行います。
- 給食時には、一時的に「机を向かい合わせにしない」、「大声での会話を控える」こととし、飛沫に気を付けたうえで食事を行います。

ご家庭でも手洗いや換気などの対策を行うとともに、健康管理に気を付けていただき、普段と異なる症状が見られる場合には、無理をせず休養するようにしてください。神戸市のインフルエンザなどの感染状況は右の二次元コードからご覧ください。



感染状況の
確認はこちら

教育委員会へのご意見などは「お困りごとポスト」
またはTEL: 984-0608 FAX: 984-0617でご連絡ください。

お困りごとポスト

